

# 開会のことば

開会にあたりご挨拶させていただきます。

川崎総合科学高等学校は、「科学科」と「工業科」があります。工業科は「情報工学科」「総合電機科」「電子機械科」「建設工学科」「デザイン科」の5科に分かれています。

私はデザイン科に所属しています。授業では、工業デザインを学ぶために、絵画、彫刻、プロダクトデザイン、CGなど美術やデザインに関する、あらゆる分野に通じるデザインの基礎を学んでいます。

私は放送部でアナウンス部門に取り組んでいます。それがきっかけとなり、今話題のSDGsを勉強し始めました。そしてデザインに活かせるのではないかと考えるようになりました。

一方、授業では、ものづくりの基本となる知識だけでなく、考え方も教わっています。例えばSDGsに絡めた、環境問題や、「物を作る上での責任」について考える授業では、デザインとは何かと考える機会もありました。

私はこれからのデザインは、見た目の良さや機能性の良さだけでなく、社会問題に関連づけるデザインが必要になると思いました。

例えば、食品などのパッケージです。プラスチックのものから紙パックにしたり、ペットボトルをアルミ缶にしたりなどの動きがあります。これらは環境問題に配慮するだけでなく、賞味期限を伸ばすことによってフードロスを防止する狙いがあるそうです。「作る側の責任」を意識した結果だと考えています。

幅広い知識を持っていないと、自分がやりたいデザインが何か気付けないと考えています。そのために、デザイナーの方々に話を伺ったり、デザインと異なる考え方をもった別の学科の人たちとも議論したりなど、自分自身に多くの刺激を与えてくれています。

デザインについて学びながら、新しい刺激やつくる喜びと難しさを感じる、とても充実した高校生活を送ることができています。

最後になりましたが、このような機会をつくっていただきました関係者の皆さま、今まで準備などにご協力いただきました多くの皆様に生徒を代表してお礼を申し上げます。

それでは、皆さま第24回 神奈川県産業教育フェアをお楽しみください。

川崎市立川崎総合科学高等学校 デザイン科 2年 箕 梨花